Mozilla

報道関係者各位

2026 年 11 月 24 日

Mozilla、日本市場における過去 18 ヶ月間の投資成果を発表

～「スマホ法」施行を機に、日本向け機能の拡充や国内ウェブサイトとの互換性向上、開発者コミュニティとの連携強化を通じ、Firefox の利便性向上を推進～

Mozilla Corporation（本社：アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ、CEO：Anthony Enzor-DeMeo）は、ウェブブラウザ「Firefox」を日本のユーザーにとってより使いやすく、地域に根ざしたブラウザへと進化させるため、過去 18 ヶ月間にわたり日本市場で進めてきた取り組みとその成果を発表いたしました。これらの取り組みは、新しい日本語機能の実装、国内で人気の高いウェブサイトとの互換性向上、日本市場向けに制作されたブランドキャンペーンの展開、さらに 2026 年 12 月 7 日（月）～9 日（水）に東京で開催される「Open Source Summit Japan」への協賛を通じた、日本の開発者やオープンソースコミュニティとの連携強化など、多岐にわたります。

■背景：「スマホソフトウェア競争促進法（スマホ法）」の施行と、モバイル市場における公正な競争の促進

2025 年 12 月に、日本で「スマホソフトウェア競争促進法（スマホ法）」が完全施行されたことに伴い、スマートフォンの初期設定や OS アップデート時に、ブラウザや検索エンジンをユーザー自身が選べる「選択画面」が導入されました。Mozilla はこれまで一貫して、ユーザーがブラウザを自由に選択できる環境の重要性や、それが単なる選択肢の提示にとどまらず、ユーザーにとって実質的な価値をもたらすものでなければならないと主張してきました。モバイル市場における公正な競争の促進を目指す「スマホ法」の目的は、こうした Mozilla の理念と一致しており、Mozilla は同法の導入および今後の効果的な運用を強く支持しています。意味のあるブラウザの選択肢を提供するには、ユーザーへのより公平なアクセスだけでなく、ユーザーのニーズに応える製品への継続的な投資も不可欠です。

こうした背景のもと、Mozilla は、日本のユーザーが自身のブラウジング環境をより自由に選択できるようになったこの節目において、日本市場における主な取り組みとその成果をお知らせします。

■ 日本の日常生活に寄り添う Firefox

日本をはじめとする世界中の Mozilla チームは、日本の人々がスマートフォンでどのようにウェブを利用するかを分析し、以下の機能を Firefox に導入しました。

- **よりスムーズな初期設定（オンボーディング）**
  日本のユーザー向けに先行開発された、マスコット「Kit（キット）」が登場する新しいモバイル版のオンボーディング体験は、世界中の Firefox における初期設定画面の改善にも貢献しました。

- **ローカライズされたホーム画面**

日本で人気のウェブサイトへのショートカットをデフォルトで配置し、季節に合わせた桜の壁紙などを提供しています。

- **ウェブサイトの日本語翻訳機能**
  モバイル版 Firefox の内蔵翻訳機能が iOS と Android の両方で日本語に対応しました。端末上で、直接翻訳されるため、ページ内容のプライバシーが保たれ、言語パックをダウンロードすればオフラインでの翻訳も可能です。

- **日本の住所フォーマットへの自動入力対応**
  モバイル版 Firefox が日本の住所フォーマットに対応し、オンラインショッピングや各種サービスへの登録時のフォーム入力がより迅速になりました。

- **プライバシーツールの内蔵**
  Android 版およびデスクトップ版 Firefox には、ブラウジング時のプライバシー保護をさらに強化する無料の内臓 VPN 機能が搭載されました。iOS 版ではオプション機能「広告ブロッカー」の展開を開始したほか、端末を振る、または画面をタップするだけで長文記事の要点を抽出できる「振って要約」も日本語に対応しました。

■ ウェブの互換性向上と日本語テキストの最適化

日本のユーザーが日常的に利用するウェブサイトをより快適に閲覧できるよう、互換性の改善と日本語テキストの表示品質向上にも取り組みました。

- **日本の人気サービスへの対応**
  Mozilla は日本のエンジニアと密に連携を行い、楽天、ABEMA、ニコニコなどの日本の人気サービスで発生していた互換性の問題に対処しました。 日常的に利用されるウェブサイトで Firefox が安定して動作する環境を整えています。

- **より自然なタイポグラフィの実現**
  日本語の文字とラテン文字（アルファベット）や数字の間に自然な余白を自動的に追加する CSS の「text-autospace」プロパティをサポートするなど、日本語とCJK（中国語・日本語・韓国語）テキストの表示を改善し、複数言語が混在するテキストの可読性が大幅に向上しています。

■ 日本国内におけるブランド展開とコミュニティの構築

Mozilla は、Firefox の価値とプライバシー保護の重要性をより多くのユーザーに届けるため、日本発のブランドキャンペーンを展開するとともに、国内の開発者コミュニティとの関係強化を図っています。

- **ブランドキャンペーン「見たい世界を、設定しよう。」**
  「**見たい世界を、設定しよう。**」というメッセージを軸に、自立、自己表現、選択の自由を称えるブランドキャンペーンが日本国内で初めて制作され、2026 年 5 月より、TikTok、YouTube、Meta などのプラットフォームで展開されています。

- **クリエイターとのコラボレーション**
  ゲーム、テクノロジー、ライフスタイル分野の日本人クリエイターが、独自の視点で Firefox のプライバシー機能の魅力を発信し、新たなユーザー層にブラウザを紹介しています。

- **開発者およびオープンソースコミュニティとの連携**
  Mozilla は、「try! Swift Tokyo 2026」に協賛し、東京でコミュニティミートアップを主催しました。 さらに、2026 年 12 月 7 日（月）～9 日（水）に東京で開催される「Open Source Summit Japan」にスポンサーとして協賛予定です。同イベントでは Mozilla ブースも出展し、国内の開発者コミュニティの皆様との対話を通じて、さらなる連携強化を図ってまいります。

■ 今後の展開について

Mozilla は、日本のユーザーに最適なブラウジング環境を提供するため、引き続き日本市場への投資を強化してまいります。今後は、他ブラウザからのデータ移行（ブックマークやパスワード等）をシームレスに行える機能拡充のほか、iOS 版 Firefox 向けに新たな AI 音声機能の導入も予定しており、日本はこれらの最新機能がいち早く提供される先行市場の一つとなります。

Firefox は、Android、iOS、Windows、macOS、Linux 向けに公式サイト（firefox.com/ja）から無料でダウンロードいただけます。

■Mozilla について

Mozilla は、非営利団体を母体とし、プライバシー、個人の尊厳、そしてオープンなインターネットを擁護するテクノロジー企業です。インターネットが世界的な公共資源として、誰にとっても自由にアクセス可能な場所であり続けることをミッションに掲げています。過去 25 年にわたり、テクノロジー業界においてステークホルダー資本主義を先導してきました。これからの四半世紀は、より良いインターネットの実現を目指す新たな人材の力とともに、信頼できるテクノロジー製品の開発支援からコミュニティの拡大に至るまで、私たちの取り組みをさらに推進してまいります。